

一般社団法人日本小児血液・がん学会
2018年度臨時社員総会議事録

1. 日 時：2018年11月15日（木） 8時00分から8時40分まで
2. 場 所：京都市勧業館みやこめっせ 第1会場
3. 出席者：社員（評議員）総数 287名 この議決権数 287個
 出席社員（評議員） 242名（委任状を含む） この議決権数 242個
4. 議 長：細井 創
5. 定足数

以上のとおり定足数に達したので、定款の規定により理事長細井 創は議長席に着き、開会を宣した。まず逝去された会員へ黙祷をささげた後、議長より学術集会開催に関する挨拶がなされ、その後、議事に入った。

第1号議案 議事録署名人の選任の件

議長は、議事録署名人について、本日出席の井上雅美評議員と仁尾正記評議員の2名を指名し、その承認を全員に諮ったところ、異議なく承認された。

（報告事項）

1. 庶務報告の件

議長は、庶務・財務委員会松本公一委員長に報告を依頼し、松本委員長より庶務報告がなされた。

2. 平成30年度上半期事業報告

各委員会委員長より、委員会活動状況について、資料をもとに、以下の報告がなされた。

<評議員等資格審査委員会>

- ・新規評議員申請者を審査し、4名を適格と判定した。
- ・評議員資格喪失に関する審査を実施した。

<倫理委員会>

- ・第60回学術集会応募演題に関する倫理審査を実施した。

<利益相反委員会>

- ・役員、委員、学術集会発表者の利益相反管理を行った。

<学術集会プログラム委員会>

・学術集会発表演題に関して、研究発表演題であるにも関わらず、症例報告のため倫理審査不要と登録している演題があるため、注意喚起がなされた。

・学術集会発表演題における英文抄録に関して、PBCへの掲載を考慮し、英文に自信のない場合は、英文校正を受けた上で抄録を提出するよう注意喚起がなされた。

<学会誌編集委員会>

- ・学会誌発行状況が報告された。
- ・投稿規程を改正し、新たに編集協力費3,000円の徴収を設定した。

<診療ガイドライン委員会>

・小児白血病・リンパ腫診療ガイドライン及び小児がん診療ガイドラインの商業目的転載に関して、

ロイヤリティを設定した。

<学会賞等研究審査委員会>

- ・第8回日本小児血液・がん学会学術賞受賞者及び平成30年度大谷賞受賞論文が報告された。
- ・平成30年度小児医学川野賞学会推薦者及び平成30年度白血病研究基金一般研究賞学会推薦者が報告された。

<研究審査委員会>

- ・研究審査委員会審査状況が報告された。

<学術・調査委員会>

- ・2017年登録症例の集計を行った。
- ・2018年新登録システムを稼働している。

<疾患委員会>

- ・各疾患小委員会活動状況が報告された。
- ・疾患委員会小委員会委員を公募したことが報告された。応募者数が少なかったことから、評議員でなくとも会員であれば委員となれるため、積極的な応募を促すよう周知がなされた。

<看護委員会>

- ・看護師・医師が連携して実施するケアに関する全国実態調査を計画し、実施予定である。
- ・日本小児がん看護学会と連携し、小児がんに関わる看護師に対する教育研修プログラムを検討中である。

<教育・研修委員会>

- ・教育セミナー予定が報告された
- ・緩和ケア研修会（CLIC）の受講歴が本会専門医認定及び資格更新の必須要件となったため、受講するよう周知がなされた。

<専門医制度委員会>

- ・各種認定状況が報告された。
- ・第5回小児血液・がん専門医試験を実施した。

<保険診療委員会>

- ・PCR-MRD検査施設認定を実施した。
- ・平成30年度診療報酬改訂に向けた提案書を提出した。
- ・「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」へ要望書を提出した。
- ・「NUDT15遺伝子多型検査試薬の早期承認および保険適用」、「ブリナツモマブ製剤の携帯型精密輸液ポンプ適応」について厚生労働省へ要望書を提出した。

<国際委員会>

- ・第60回学術集会アジア交流セッションの招聘者4名を選定した。
- ・第60回学術集会日韓ジョイントシンポジウムの招聘者2名を選定した。
- ・アジアセッションは今回で5年間の区切りとして終了する。
- ・Korean Society of Pediatrics Annual Meetingでのジョイントシンポジウムにて2名の学会推薦演者が講演した。
- ・SIOP京都開催に協力した。

<長期フォローアップ・移行期医療委員会>

- ・小児がん拠点病院の指定要件に「小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会」

の受講が盛り込まれた。

<社会・広報委員会>

- ・SIOP 京都にて本会ブースを出展する。

3. 第63回日本小児血液・がん学会学術集会会長選任結果の件

議長より、理事会における審議の結果、井上雅美評議員が第63回日本小児血液・がん学会学術集会会長に選定されたことが報告された。井上雅美評議員より就任の挨拶がなされた。

2021年11月25日（木）～27日（土）、大阪国際会議場での開催を計画している。

4. 第61回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、檜山英三次期会長に報告を依頼し、檜山次期会長より第61回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2019年11月14日（木）～16日（土）
- ・会場：広島コンベンションホール及び広島県医師会館
- ・テーマ：Peace for everyone～すべての子どもに笑顔を～

5. 第62回日本小児血液・がん学会学術集会準備状況報告の件

議長は、菊田 敦次々期会長に報告を依頼し、菊田次々期会長より第62回日本小児血液・がん学会学術集会の準備状況について以下の報告がなされた。

- ・会期：2020年11月20日（金）～22日（日）
- ・会場：ビッグパレットふくしま（福島県産業交流館）
- ・テーマ：かなえよう みんなの夢

6. 小児がん認定外科医に関して

議長より、本会小児がん認定外科医について、小児外科専門医のサブスペシャリティに位置づけられる予定かの質問がなされ、滝田専門医制度委員長より、今後、専門医制度委員会にて検討していくことが報告された。

7. 小児造血細胞移植ドナーの安全性に関する疫学観察研究について

橋井造血細胞移植委員長より、標記の研究を実施している旨の報告があり、議長に研究調査への協力要請がなされた。

議長は、以上をもって一般社団法人 日本小児血液・がん学会の臨時社員総会に関するすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長ならびに議事録署名人がこれに記名押印する。

平成30年11月15日 一般社団法人日本小児血液・がん学会 臨時社員総会

議 長 細 井 創 (印)

議事録署名人 井 上 雅 美 (印)

議事録署名人 仁 尾 正 記 (印)